

(社)日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会  
第113回 レベル1PRA分科会 議事録

1. 日時 第113回：2023年2月7日（火）14:00～15:20

2. 場所 Web開催（Webex）

3. 出席者

（出席委員）牟田主査，桐本副主査，橋本（和）幹事，佐藤，高橋（信），西野，岩谷，  
喜多，竹次，高橋（拓），橋本（望），池田，丹野，三橋，塩田，小森（16名）  
（常時参加者）久保，不破，寺島，東（4名）

（敬称略）

4. 配布資料

P4SC-113-1 人事について（報告・確認）

P4SC-113-2 内の事象 PRA 標準講習会 開催結果

P4SC-113-3 パラメータ推定に関する実施基準改訂要否検討に向けて

P4SC-113-4 レベル1PRA分科会の今後の運営体制素案

5. 議事内容

(1) 出席者/資料確認

委員16名が出席しており，分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。  
また，配布された資料が確認された。

(2) 人事について（報告・確認）

資料P4SC-113-1により，佐藤（輝）委員の退任，丹野常時参加者の登録解除が報告された。  
また，事前の分科会審議により丹野委員（テプコシステムズ），寺島常時参加者（テプコシステムズ）が新たに承認されたことが報告された。

(3) 講習会の開催結果について

資料P4SC-113-2により，発行された内の事象L1PRA基準・指針の講習会の開催結果について報告があった。主な議論は次のとおり。

・受講者のアンケートからは，概ね好評であり，分かり易く役に立つとの意見であった。また，主にPRA経験者からは，要求事項をまとめた基準・実施方法をまとめた指針の2部構成の方が従来の実施基準より分かり易く使い勝手もよいとの感想が寄せられた。対して，2部構成に関する否定的な意見はなかった。来年度には従来の実施基準の廃版可否検討が

計画されており、今回のアンケート結果も参考としていく。

- ・総じて講習会午後のセッションの時間が分量に比して短めであったので、時間配分について調整した方がよい。その分技術的な説明をより充実できればよい。また、質疑の時間も多めにした方がよい。
- ・今後パラメータ推定標準も必要に応じて改定整備していくので、将来的には内の事象 L1PRA と交互に開催するなども考えられる。標準委員会でビデオ講習も検討されており、今回講習会も収録されているので、このような動向と合わせて検討していく。
- ・開催時期は、1月に入ると諸般多忙になるので、早めに開催した方が講師の負担が軽減する。今回、基準・指針の2部構成として最初の講習会であったため、資料準備にも負担があったが、今後は今回資料をベースとして活用していく。

#### (4) パラメータ推定標準の改定要否検討の論点について

資料 P4SC-113-3 により、改定時期となっているパラメータ推定標準の改定に向けた論点について報告があった。主な議論は次のとおり。

- ・既に内の事象 L1PRA 指針からパラメータ推定標準を参照している。今回の改定で、規定本体は将来的に内の事象 L1PRA 指針に組み込めるよう検討していくのがよいのではないか。
- ・その上で、適用事例やデータ類に関しては、外部参照・技術レポートなどに整理することが考えられる。
- ・今回資料と議論をベースに、改定に関する論点をより具体化して継続検討し、来年度半ばを目途に改定要否・論点の分科会議論をまとめ、上部委員会へ報告していく。

#### (5) 今後の分科会運営について

資料 P4SC-113-4 により、今後の分科会運営に関する提案があった。これに関して次のとおり議論があった。

- ・分科会運営も多岐に亘ってきており、幹事業務については複数名による分担や交代制など持続可能な体制を検討する。
- ・具体的な運営体制については、継続検討とする。

次回分科会は、4月24日 AM を候補とし、同25日 AM を第一予備とする。

以上